

他の統計と比較する際の留意点

1 販売側統計との比較

家計調査の消費支出は、1世帯当たりの平均値であって、耐久財や非耐久財（消耗品）などの「財」への支出だけでなく、住居（家賃など）、交通費、教育費、診療代などの「サービス」への支出も含め、世帯が消費するものを幅広く含んでいる。また、「贈与金」や「仕送り金」といった他の世帯への移転支出も含まれている。

これに対して、販売側の統計である商業動態統計調査（経済産業省）の小売業販売額などは、総額であって、基本的に「財」に関する統計であり、家計調査の消費支出に含まれている「サービス」への支出はほとんど含まれていないことに加え、最近増加しつつある外国人観光客による消費分なども含まれている。

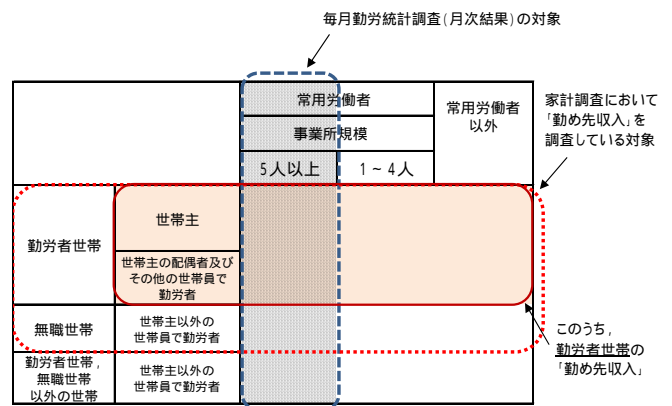
このように概念や対象とする範囲が異なるため、販売側の統計と比較する際には、留意する必要がある。

2 賃金統計との比較

家計調査の「実収入」（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）は、全ての世帯員の収入を合算した1世帯当たりの平均収入を表すものである。これに対して、毎月勤労統計調査（厚生労働省）の「現金給与総額」は労働者1人当たりの平均賃金を表すものである。

また、「実収入」は、勤め先収入のほか、事業・内職収入、公的年金給付等の社会保障給付も含まれる広い概念である。

このように概念や対象とする範囲が異なるため、賃金統計と比較する際には、留意する必要がある。



注：家計調査の実収入には、「勤め先収入」のほかに「事業・内職収入」、公的年金などの「社会保障給付」などが含まれる。

(参考) 月次結果の季節調整に使用した X-12-ARIMA のスペックファイルなど

(1) スペックファイル(Spec File)

```
series{
  file="原系列ファイル名"
  start=2000.1
  span=(2000.1,2014.12)
  period=12
}
transform{ function=log }
regression{
  variables = (          # (3) ARIMAモデル, 回帰変数等一覧を参照
)
                        # 月末の曜日などのユーザー変数の " UserType " は, " holiday " としている。
}
arima{
  model=                # (3) ARIMAモデル, 回帰変数等一覧を参照
}
estimate { }
forecast{
  maxBack=0
  maxLead=0            # 安定性を高めるため, デフォルトの12から0としている。
}
outlier {
  span=(2013.1,2014.12) # 外れ値の自動検出
}
                        # (自動検出された外れ値は " regression " に記述した。)
x11{
  sigmaLim=(1.5 3)
  appendFcst=yes
  save=(d10 d11 d16)
}
注)「#」以下はコメント
```

(2) ユーザー変数

休日及び月末の曜日については、ユーザー変数を作成して回帰変数とした。

休日

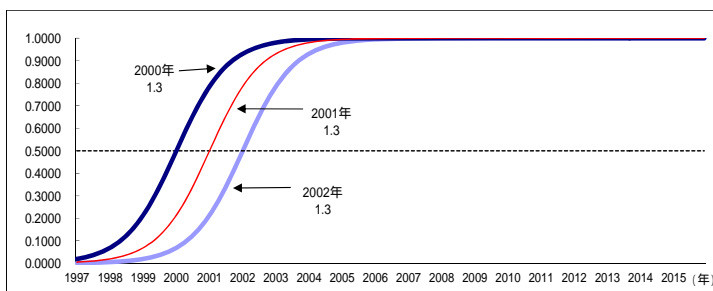
月～金曜日が国民の祝日又は振替休日になる場合の休日の日数をユーザー変数とした。

月末の曜日

月末の曜日により支出が増える月を「1」、支出が減る月を「-1」、増減のない月を「0」とした上で、携帯電話通送料など月末の曜日により影響を受ける品目の支出に占める割合の増加を考慮し、ロジスティック曲線を使用して重みを付けた値をユーザー変数とした。

なお、各系列に使用したロジスティック曲線の「基準年」及び「係数」については、(3)を参照のこと。

月末の曜日の重み付けに使用したロジスティック曲線の概形(例)



注) X 軸に年月, Y 軸に値をとる。値域は 0 から 1 までである。0.5 になる年を「基準年」とする。また、グラフの傾きを決定する変数を「係数」とする。ロジスティック曲線は「基準年」と「係数」で決定した。 $y = \exp((x - \text{基準年}) \times \text{係数}) / (1 + \exp((x - \text{基準年}) \times \text{係数}))$

(3) ARIMAモデル，回帰変数等一覧

	費目	ARIMAモデル	曜日とうるう年	休日と月末の曜日	外れ値
二人以上の世帯 (名目)	消費支出	(1 1 0)(0 1 2)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	LS2000.Dec LS2001.Apr AO2008.Jan LS2010.Apr LS2011.Mar AO2014.Mar
	食料	(0 1 1)(2 1 1)	td1coef	jholiday	LS2001.Mar AO2008.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar AO2014.Apr
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	
	家具・家事用品	(0 1 1)(1 1 2)			AO2014.Feb AO2014.Mar
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar
	保健医療	(0 1 2)(0 1 1)	td		AO2010.Aug AO2014.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear	jholiday-m200213	LS2011.Mar AO2014.Mar
	教育	(0 1 1)(1 1 2)	tdnolpyear	m200113	LS2001.Apr LS2010.Apr AO2011.Sep AO2011.Nov AO2013.Sep
	教養娯楽	(0 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar
	その他の消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	td1nolpyear	m200013	AO2000.Dec
	諸雑費	(2 1 2)(0 1 2)	td1nolpyear	m200013	AO2014.Mar
消費支出(除く住居等)	(2 1 0)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	LS2001.Apr AO2008.Jul LS2010.Apr LS2011.Mar LS2012.Jun AO2014.Mar	
二人以上の世帯 (実質)	消費支出	(0 1 2)(1 1 0)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	LS2000.Dec LS2001.Apr AO2008.Jan LS2010.Apr LS2011.Mar AO2013.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr
	食料	(1 1 1)(0 1 1)	td1coef	jholiday	AO2007.Jan AO2014.Mar AO2014.Apr
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	
	家具・家事用品	(0 1 1)(1 1 2)			AO2014.Mar LS2014.Apr
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2014.Jan AO2014.Mar
	保健医療	(0 1 2)(0 1 1)	td		AO2010.Aug AO2014.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 2)	tdnolpyear	jholiday-m200213	LS2011.Mar LS2012.Feb AO2014.Mar
	教育	(0 1 2)(0 1 1)	tdnolpyear	m200113	LS2001.Apr AO2007.Apr AO2013.Sep
	教養娯楽	(0 1 1)(2 1 1)			AO2010.Nov LS2011.Mar AO2014.Mar
	諸雑費	(2 1 2)(0 1 2)	td1nolpyear	m200013	AO2014.Mar
	消費支出(除く住居等)	(1 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	LS2001.Apr LS2010.Apr LS2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr
勤労者世帯 (名目)	実収入	(0 1 1)(0 1 1)			LS2006.Jul
	経常収入	(0 1 1)(0 1 1)			AO2002.Mar LS2006.Jul
	消費支出	(1 1 0)(0 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	LS2000.Dec LS2001.Apr AO2008.Jan TC2010.Apr LS2011.Mar AO2014.Mar
	食料	(0 1 1)(2 1 0)	td1coef	jholiday	LS2001.Mar LS2011.Mar LS2012.Jan AO2014.Mar
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200213	
	家具・家事用品	(0 1 1)(0 1 2)	td1nolpyear		AO2014.Feb AO2014.Mar
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2011.Mar AO2014.Mar
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear	jholiday-m200213	LS2011.Mar AO2014.Mar
	教育	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear	m200213	LS2001.Apr LS2010.Apr AO2013.Sep
	教養娯楽	(0 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov AO2014.Mar
その他の消費支出	(0 1 1)(0 1 1)	td1nolpyear	m200213		
諸雑費	(2 1 2)(0 1 2)	td1nolpyear	m200013	AO2014.Mar	
可処分所得	(0 1 2)(0 1 1)			LS2006.Jul	
勤労者世帯 (実質)	実収入	(0 1 1)(0 1 1)			LS2006.Jul
	経常収入	(0 1 1)(0 1 1)			AO2002.Mar LS2006.Jul
	消費支出	(1 1 1)(2 1 1)	tdnolpyear lpyear	jholiday-m200113	LS2000.Dec LS2001.Apr AO2008.Jan TC2010.Apr LS2011.Mar AO2014.Mar LS2014.Apr
	食料	(1 1 1)(2 1 0)	td1coef	jholiday	AO2014.Mar
	住居	(0 1 1)(0 1 1)		m200113	AO2014.Mar
	光熱・水道	(1 1 1)(0 1 1)		m200113	LS2014.May
	家具・家事用品	(0 1 1)(0 1 2)	td1nolpyear		AO2014.Mar LS2014.Apr
	被服及び履物	(0 1 1)(0 1 1)	td1coef		AO2011.Mar AO2012.Nov AO2014.Mar
	保健医療	(0 1 1)(0 1 1)			AO2014.Mar
	交通・通信	(0 1 1)(1 1 1)	tdnolpyear	jholiday-m200213	AO2004.Feb LS2011.Mar LS2012.Feb AO2014.Mar
	教育	(0 1 1)(0 1 1)	tdnolpyear	m200213	AO2013.Sep
	教養娯楽	(0 1 1)(0 1 1)			AO2010.Nov AO2014.Mar
諸雑費	(2 1 2)(0 1 2)	td1nolpyear	m200113	AO2014.Mar	
可処分所得	(0 1 2)(0 1 1)			LS2006.Jul	

注) " jholiday " は休日， " myyyynn " は月末の曜日 (yyyyは基準年，nnは係数(n.n))である。他の変数等については，X-12-ARIMA Reference Manual (U.S. Census Bureau) を参照のこと。